



全国でも珍しい郷土芸能 ～関谷の城鍬舞～

戦国時代、大田原城築城に従事した農民たちが城の完成を祝って舞ったのが始まりといわれる城鍬舞。本市近郊では関谷や上大貫、上石上(大田原市)にしか伝承されておらず、この3地区ごとに曲や舞などが異なっており、それぞれ県指定無形民俗文化財に指定されています。城鍬舞は太鼓に合わせて、子どもたちが手に持った鍬を鳴らして踊ります。爽やかに晴れ渡った4月29日、「関谷の城鍬舞」が地元の愛宕神社に奉納されました。



田植えが済んだ水田横を通り、神社に向かう一行。水面に鮮やかな姿が映り込む。



▲太鼓打ちがかぶる鶏を模した兜。
 ▼城鍬舞を象徴する鍬の刃先を模した鳴り物。子どもたちが持って踊る。



春のイベント続々開催！賑わう板室温泉 ～三大祈願祭お焚き上げ&MITEARU嬉～

4月22日、板室温泉街で行われた今年で3回目となる三大祈願祭お焚き上げ。この日は50人ほどが集まり、1～3月中に宿泊施設のお客さんが書いた約380枚の木札を焚き上げました。また、今年4月から始まったMITEARU嬉では、温泉街の各旅館などに「国画会」の画家や地元高校生の作品が6月末まで飾られています。新緑の素晴らしい季節の板室温泉を“見て、歩いて、嬉しい発見”をしてみませんか？



1 宿泊客の願いが込められた木札の数々 2 こいのぼりは板室の春の風物詩 3 会場周辺には温泉街の人たちが植樹した「ハナモモ」が可憐な花を咲かせる 4 色彩豊かな高校生の絵ほか18人の画家による作品を巡ることができる



さわやかな新緑の中を駆け抜ける ～湯けむりマラソン～

毎年春に塩原温泉で開催されている「塩原温泉湯けむりマラソン全国大会」。41回目となる今年は、塩原小中学校をスタート・ゴールとして、5月13日に開催されました。

今回は全国各地より、小学1年生から97歳までの1,300人を超えるランナーがエントリー。沿道からの声援を受けながら、ランナーたちは新緑が眩しい温泉街を気持ちよさそうに走り抜けていきました。



ヤマメを釣って自然を満喫！ ～那珂川ヤマメ釣り講習～

釣り初心者の方を対象としたヤマメ釣り講習が4月30日に那珂川上流で行われました。20～60代の女性20人が参加し、那珂川北部漁協黒磯支部スタッフなどからマンツーマンで指導を受け、釣りを楽しんで交流を深めていました。

昨年からのヤマメ釣りを始めたという参加者は「釣れると楽しいし、食べてもおいしい。この味を知るともうやめられない」と笑顔で話をしてくれました。



五穀豊穡を願う伝統の舞 ～百村の百堂念仏舞～

4月29日、百村地区に江戸時代から伝承され、国の選択無形民俗文化財になっている「百村の百堂念仏舞」の奉納が行われました。

震災や担い手不足などで一時中断していた時期がありましたが、地元の人たちの尽力により復活。現在は、高林小学校の子どもたちが保存会の指導を受けながら舞を奉納しています。この日も光徳寺を出発した一行は、百村地内2か所のほか、同地区の愛宕神社で、あでやかな舞を披露しました。



生乳生産本州一の酪農を身近に ～青木農業祭～

晴天に恵まれた4月21日、青木サッカー場で青木農業祭が開催。会場は春の陽気に誘われた多くの家族連れで賑わい、市内のグルメを提供するお店の前には長蛇の列が出来ていました。

ホルスタイン共進会(美牛コンテスト)には、市内からよりすぐりの牛60頭が参加。温かな日差しの下、ゆっくりと会場を周回する牛たちもどこか気持ちよさそうで、美しく仕上がった自慢の容姿をお客さんにPRしているようでした。